



高輪会会報

Reunion of Tokai University Takanawadai Senior High School

東海大学付属高輪台高等学校同窓会会報
(第4号)

発行所：東海大学付属高輪台高等学校同窓会
〒108-0074 東京都港区高輪2-2-16
Tel:03-3448-4011, Fax:03-3448-4020



「高輪会」は、電気通信工業学校、電波工業学校、東海工業学校、東海高等学校・併設東海中学校、東海電波高等学校、東海大学高輪台高等学校、および東海大学付属高輪台高等学校の同窓会です。

題字は東海大学総長松前達郎先生

東海大学付属高輪台高等学校に 新校舎が完成!!

第4号



■新校舎落成式

本校創立55周年の記念事業である地下3階・地上6階の新校舎が完成し、その落成式が11月27日に挙行されました。当日は松前総長を始め、各界来賓の方々約700名が出席され壮大な式典・祝賀会が開催されました。また、新校舎一般公開（オープンキャンパス）も行われ、受験生及びその父母を中心に約2500名の方が来校され、本校への関心の高さが伺われました。なお、本文4～5ページに新校舎を紹介しています。



55周年式典

■第2回同窓会総会・懇親会を開催

高輪会の第2回総会が、平成10年12月5日に新校舎の完成した本校において70名余の会員参加を得て開催されました。総会では、会則の変更、同窓会役員を選出、事業計画等が報告され、全会一致で承認されました。その後、昨年秋に落成したばかりの新校舎を見学し、21世紀の教育に通用する理想の環境に同窓生一同が感心していました。懇親会は、新校舎内の食堂で開催され、先生方にもご出席いただき、55周年記念事業をはじめとする豊富な話題に盛会のうちに親睦を深めました。



同窓会総会

高輪会交流会として平成11年12月12日(日)に本校にて「いとし会」を開催します。詳細は8ページをご覧ください。

■創立55周年の歴史と新しい時代の開拓

東海大学総長

松前 達郎 先生



東海大学附属高輪台高等学校は、昨年創立55周年を迎えました。

本校は、社会の変遷に伴った幾多の苦難を乗り越えながら、常に創立者の理想を追求することを基本とし、正しい思想に裏打ちされた技術教育、理科教育の先鞭者として大きな役割を果たしてきたのであります。

昨年4月には、附属唯一の男子校から男女共学校として再スタートし、11月には、創立55周年を記念に、21世紀の新しい教育に通用する新校舎が完成いたしました。新しい時代を担う人材育成に向け、大学との一貫教育体制のもとで更なる発展を目指し、教育の向上に努力しております。

学園は今、新しい世紀に求められる教育とは何かを常に模索し、教育界の先頭を切って改革に取り組んでおります。例えば、一貫教育を最大限に生かして、高校生と中学生を対象に、国語・数学・理科・英語・芸術・スポーツの学園オリンピックを開催し、選出された生徒に対して大学の教職員が中心になって特別セミナーを実施し、ここで優秀な成績を収めた者には大学への特別推薦を行い、これによって優れた人材の発掘と育成が可能となりました。大学では他に先駆けて、科目履修と修得に弾力性を持たせ、半期ごとに単位の認定をする Semester 制度を導入、また学生による授業評価を実施し、更に学部学科の改組改編を進めています。

このように全学をあげての教育改革は、精神文明と物質文明の融合した総合文明を希求する建学の理念達成に向けて、教職員、生徒の努力は勿論、保護者及び卒業生、後援会、行政諸機関などのご支援、ご指導があつて出来るものと深く感謝を致します。創立者である松前重義博士は、同窓生の一人ひとりが日本と世界の新たな歴史を創造するために蒔かれた大切な一粒の種子であり、国の基本は教育にあるとして、学園を創設したのであります。同窓生の皆様が、今後とも建学の精神を人生の糧として、益々活躍されることを心より祈念申し上げます。

■創立55周年記念式典を終えて

校長

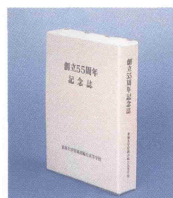
渡邊 修 先生



昨年11月27日、本校の創立55周年記念式典と新校舎竣工祝賀会が多くのご来賓の出席をいただき、厳かに執り行われました。開校以来初めて全校生徒が一同に会しての式典

でした。それも自分の学校の真新しい体育館でしたので、元の校舎や仮校舎の事が思い出され、喜びもひとしおでした。

ところで、この55年の歴史は決して平坦なものではなかったようです。特に戦後の混乱期においては、校舎・校地を失い、存続すら危ぶまれた時期もあったとのこと。この危機を、学園本部と、本校に隣接する短期大学部の御支援を受けて、二代目校長多田元一先生を初めとする多くの教職員の血の滲むような努力によって乗り越えて来たとお聞きしています。私たちは、先人のご努力・ご苦勞によって今日の高輪台高校があることを忘れてはならないと思います。



創立55周年記念誌

私たちはこの素晴らしい校舎を十二分に活用して新しい時代に相応しい学校となるよう、努力したいと思います。

■高輪会の発展の為に

高輪会会長

上島 弘安



昨年は新校舎落成、55周年記念、連合及び高輪会総会と慌ただしい1年でした。皆様のご協力により何とか乗り切ることができありがとうございました。

新校舎は学校見学に訪れる中学生、父母、先生方にも好評で生徒募集時には例年以上の応募があり、今後の発展の基礎が築かれたと確信しております。高輪会も2期目に入りますます充実した運営に取り組みたいと考えています。会の事業計画：予算・決算等の審議機関として役員会、総会があります。現在議案の提案母体である役員会メンバーが少数で運営され、動きやすい反面、マンネリ化の危険を含んでいます。絶えず改革し発展して行く為には多くの人の意見、批判を取り入れて行く必要があります。その為に幹事会の充実を提案したいと思います。卒業時に各クラス1名の幹事が選ばれ登録されていますが、長く同窓会活動が停滞していた為に、記録の不備等のため連絡不能等多くの障害が山積されたまま今日に至っています。この問題の解決のために同期会開催を基礎にしたいと考えています。卒業生の大多数が大学に進学する時代に、高校の存在が希薄になるのは止む得ないことも知れません。時には、君と僕に帰って談笑し酒を酌み交わすのもよいではないでしょうか。十年一昔といえます。十年に一度位学校に顔を出してみませんか、生徒や設備の高速な変化に驚くと思います。

男女共学も2年目になり男子校の硬い感じから華やいだ雰囲気になっています。同窓会も彼女たちが入会した時にはより活気ある活動が期待されます。

55年の伝統ある本校も工業高から普通高へ、高輪台高校へと校名変更、そして共学にとの変化は母校への意識を遠ざけているかも知れません。時には、高輪会の活動に参加され皆様の目を学校に向けていただければ幸いです。

高輪台ライフだより — 高校・在校生の活動紹介 —

● 2学期制がスタート

これまでの3学期制の学期編成が終了し、1999年度からは2学期制に移行しました。共学化した後にも、剛健旅行、修学旅行、課外活動、建学祭などが活発に行われており、その一部を写真で紹介します。また、本校への進学を希望する中学生を対象に、新校舎の見学と進学相談が行われており、このときは在校生も案内に参加して、高輪台ライフを丁寧に紹介して好評を得ているそうです。

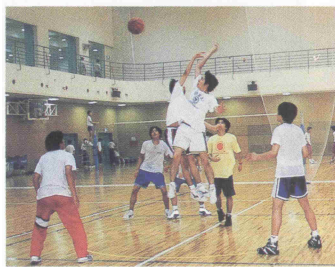


校外活動(バーベキュー)
津久井町このまさわキャンプ場にて
(1年生・平成11年5月29日)



入学式(平成11年4月)

剛健旅行を
嬬恋村で実施
(平成11年7月16日〜17日)



スポーツ大会(バレーボール)



研修旅行



● 柔道部が全国大会に出場

柔道部が3月の大会で東京都第三位の成績を収め、みごと全国大会への出場を果たしました。特別な選手強化策は取られておらず、入部時の柔道経験者はたった一人で、他の全員が高校から柔道を始めた部員だったことが特筆されます。



全国大会出場の柔道部

編集部より

母校の紹介として、今後も学校や在校生の活躍を紹介していく計画です。皆さんからの情報を事務局へご連絡ください。写真や記事も歓迎いたします。



■部活動の紹介 吹奏楽部 第9回定期演奏会(平成10年12月25日 きゅりあん大ホール)

21世紀の教育を目指し

アリーナ

バスケットボール1面、バレーボール2面を利用し、一堂に授業ができる。奥に見えるのは、武道場（柔道場・剣道場：1年男子の授業がおこなわれる）。



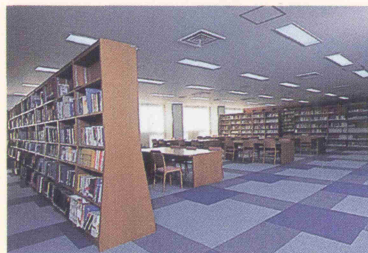
音楽室

完全ホール仕様の特注YAMAHAアビテックス設備。音楽の授業の他、吹奏楽部が使用し成果を収めている。100人編成の演奏が可能。



トレーニングルーム

民間のスポーツジムにも劣らない充実したトレーニング機器の数々。授業の他にも放課後には、部活動の中での筋力トレーニングに活用されている。



図書室

コンピュータ管理された明るい図書館は大きな窓から見える木々に囲まれ、落ち着いた読書のできる空間となっている。館内は閲覧室と自習室、AVコーナー室に分かれている。



保健室

具合の悪い時、健康相談をしたい時、いつでも入れるように明るい雰囲気を持たれている。月1回は医師が来校し、健康相談が受けられる。



ホームルーム(HR)教室

1階から6階まではHR教室が設置されている。各階には5クラスのHR教室があり、視聴覚機器が完備されている。



中央職員室

広い室内に約60名の職員の座席が配置されている。「出退勤表示の所在もわかり易く、質問や多くの生徒が見かけられる。

た理想の新校舎が完成



屋上庭園

狭い土地を有効に利用した長さ60mにも及ぶ庭園は、四季の草木が植えられ、学校生活に潤いを添えている。ベンチも置かれているので、コミュニケーションの場所としても利用されている。



コミュニケーションホール

エレベーターホールとつながったこのホールは、大きなスペースをとってあり、観葉植物が置かれ、絵画が展示され、落ち着いた雰囲気になっている。椅子とテーブルが置かれ、多くの生徒が談笑する姿が見られる。



事務室

中央監視装置の入った事務室。



外景

レインボーブリッジ、東京タワーから新宿副都心や富士山までもが一望できる。



CAI教室

3室あるCAI教室は、実用英語検定試験受験のために2級、準2級などの学習ソフトがインストールされている。授業時間以外の放課後等の利用も多い。



茶室

書院造りで普通教室1つ分の広さをもつ茶室は、文化祭での利用や外国からのお客様へのもてなしの場としても利用する。現在は、茶道同好会の主な活動場所となっている。



美術室

柱が1本もない教室2つ分の広い部屋は、最上階にあり、何か新しい発想の浮かぶ雰囲気の中、情操の育成にもつながる授業が行われる。

ゆとりを持つ
により教員
に訪れる多

第2回高輪会総会開催報告

1998年12月5日に開催され、会長挨拶、学校長挨拶に続き以下の議案が承認され、新体制が紹介された。

■議案

- 第1号議案 活動報告、98年度事業計画
- 第2号議案 決算報告(資料参照)
- 第3号議案 高輪会会則の改正
- 第4号議案 役員の変更

■新役員紹介

- 会長 上島 弘安(S26)
- 副会長 佐藤 毅(S35) 土方 啓司(S36)
- 監査 加藤 慶男(S26) 森 公法(S57)
- 理事 松原 健次(S33) 中島 洋介(S40)
- 猪尾 廣志(S41) 浅野 修一(S48)
- 伊藤 光一(S51) 中村 則之(S54)
- 井上 徳之(S55) 荒木 修一(S57)
- 佐藤 潔(S62)

- 名誉会長 渡辺 修(学校長)
- 顧問 杉 一郎(教頭)

■決算報告・予算案

◆1998年度 収支決算書 (1998年4月1日～1999年3月31日)

収入の部 (単位:円)			
科目	予算	決算	備考
1.前年度繰越金	3,013,304	3,013,304	
2.入会金	4,130,000	4,120,000	10,000円×412名
3.維持会費	400,000	106,000	
4.特定預金繰入	2,000,000	2,000,000	不足分繰り入れ
5.預金利息	8,000	9,337	
6.雑収入	0	465,000	総会参加費
合計	9,551,304	9,713,641	

支出の部 (単位:円)			
科目	予算	決算	備考
1.会議費	100,000	202,004	役員会食事代・他
2.広報費	200,000	106,500	会報発行関係・他
3.渉外費	300,000	263,000	連合会会費・総会参加費
4.印刷費	5,200,000	4,775,600	名簿、会報
5.通信費	1,500,000	933,710	会報送料他
6.旅費交通費	300,000	118,630	連合同窓会・他
7.用品費	200,000	190,585	新校舎同窓会室備品
8.事務雑費	30,000	10,735	文房具他
9.補助費	1,500,000	1,539,300	懇親会、校歌プレート、記念品
10.特定預金	0	0	
11.雑費	200,000	0	
12.次年度繰越金	21,304	1,573,577	
合計	9,551,304	9,713,641	

◆1998年度特定預金 (単位:円)		金額
項目	金額	
前年度よりの繰越額		8,000,000
今年度組入額		0
合計		8,000,000

◆1999年度 収支予算書(案) (1999年4月1日～2000年3月31日)

収入の部 (単位:円)			
科目	予算	備考	
1.前年度繰越金	1,573,577		
2.入会金	4,450,000	10,000円×445名	
3.維持会費	200,000		
4.特定預金繰入	0		
5.預金利息	10,000		
6.雑収入	200,000	懇親会参加費 (5,000円×40人)	
合計	6,433,577		

支出の部 (単位:円)			
科目	予算	備考	
1.会議費	200,000	役員会食事代、他	
2.広報費	300,000	会報発行、広報費、他	
3.渉外費	300,000	連合会会費、他	
4.印刷費	1,000,000	会報(800,000円)、案内状、封筒等	
5.通信費	1,400,000	会報送料、はがき代、他	
6.旅費交通費	300,000	連合同窓会、他	
7.用品費	30,000		
8.事務雑費	20,000	文房具他	
9.補助費	200,000	懇親会等	
10.記念品費	300,000	卒業生記念品(600円×447人)	
11.特定預金	2,000,000	名簿代積立分、会費前払い、他	
12.雑費	200,000		
13.次年度繰越金	183,577		
合計	6,433,577		

◆1999年度特定預金 (単位:円)		金額
項目	金額	
前年度よりの繰越額		8,000,000
今年度組入額		2,000,000
合計		10,000,000

■見学会・懇親会

総会終了後、新校舎食堂において懇親会が行われ、高輪会名誉会長である渡辺修学校長・戸塚雅夫連合同窓会長等の方々から祝辞をいただき、和やかな雰囲気の中、同窓生諸氏、昔話に花を咲かせておりました。



同窓会・懇親会にて

平成10年度 事業報告

～高輪会の活動紹介～

平成10年度は、東海大学付属高輪台高等学校創立55周年記念事業としての新校舎完成を始め、連合同窓会幹事校、高輪会総会、など大きな行事の重なった1年でありました。その概況について報告します。

■東海大学高等学校連合同窓会

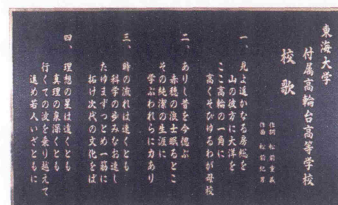
東海大学付属高等学校の「連合同窓会」は、全国の付属校が幹事校となり毎年開催されています。平成10年度は本校が相模高校・望星高校とともに幹事校となり、平成10年8月22日(土)～23日(日)に五反田「ゆーぼーと」で開催しました。総会では、各校の現況と活動方針について活発な意見交換がありました。新校舎建設中の本校を全員が見学し、懇親会は屋形船で東京湾からの夜景を堪能し大変好評でした。活動報告では、50歳の同窓生が母校に帰る相模高校の「ホームカミングデー」など、ユニークな企画が各校活動の参考になっています。

■高輪会会報(第3号)発行・会員名簿発行

「会報第3号」を平成10年10月に発行し、新校舎の施設紹介、学校が発行する「55周年記念誌」に掲載する同窓生座談会の様子、年度別同窓生の活動等を紹介しました。また、新しい会員名簿として、同窓会住所録(VOL.2)を平成10年7月に発行しました。名簿は3年ごとに改版する予定です。

■新校舎落成式・記念プレート寄贈

新校舎の落成式が平成10年11月27日に挙行され、高輪会から会長・副会長らが出席すると共に、記念に「校歌歌詞プレート(900×1500mm)」を寄贈し、新校舎の入口壁面に設置されました訪問の節は是非ご覧ください。



■高輪会入会式

平成10年度の卒業生412名が高輪会の新会員となり、平成11年3月1日に本校において入会式が行われ、上島会長より卒業のお祝いと挨拶がありました。本年より高輪会からの卒業記念として全卒業生に「各自の印鑑」を贈呈することとしました。昨年より定例行事とした新同窓会幹事10名との懇親会をホテルパシフィック東京で開催し、新幹事らとの意見交換を行いました。今後の同窓会行事等への積極的な参加が期待されます。

資料

第2回高輪会総会・懇親会出席者名簿

同窓生

野口祥彦25、砂押孝司25、村田達夫26、上島弘安26、金子兼司26、手嶋是光26、奥山貞勇26、原道明26、加藤慶男26、本田達雄26、丸山次郎26、井出健一26、木俣匡国26、伊藤信雄27、吉田信一27、谷越安男32、松原健次33、谷紘光34、田村吉弘34、佐藤毅35、土方啓司36、上條秀夫37、町田茂雄38、青田全弘38、中島洋介40、保坂誠41、青木友春41、藤田繁41、猪尾廣志42、青木兼昭42、松井昇42、清水清二44、北堀清治44、本澤守正45、吉成誠47、古田昌宏47、中村則之54、早川孝男48、浅野修一48、吉田一郎49、佐々木博之49、清水恒二50、小倉輝久50、伊藤光一51、遠山靖常51、伊東俊哉52、谷口元53、石田秀男53、只野公一53、有我淳一53、頼富雄三郎53、斎藤順一53、川瀬宏治55、井上徳之55、白鳥政志56、荒木修一57、森公法57、泉谷剛59、斎藤努59、松崎

文彰59、森一喜59、谷中孝司60、佐藤潔62、五木田暢62、岩田正明62、芦澤哲也H2、小野裕二郎H2、白井智也H8、中林淳一郎H8、伊東和彦H8、堀内健司H9、八木健太H10、伊藤大輔H10

連合同窓会参加者

相模高校：戸塚雅夫、阿部力、佐溝和彦
望星高校：下倉良次、漆谷憲康、長南友行、金谷義孝

高輪台高校参加者

渡邊修先生(学校長・名誉会長)、杉一郎先生(教頭・顧問)、内田輝雄先生(事務)、高橋幸夫先生(専門)、滝沢穰先生(理科)、野崎和夫先生(理科)、杉本由明先生(美術)、佐藤直彦先生(国語)、若林喜美江先生(英語)、松原健次先生(事務長・理科)、中島洋介先生(数学)

(数字のみは昭和、Hは平成の卒業年)

会費納入者一覧 (H8~12年。*印は5年分納入者)

Table listing members and their fees. Columns include member names (e.g., S 25 *長谷川 善治), their birth year (e.g., H8), and fee status (e.g., *印). The list is organized in columns and includes names like 井坂 暉夫, 石田 金蔵, 石井 国雄, etc.

平成11年度活動だより

平成11年度東海大学高等学校連合同窓会

平成11年度の東海大学高等学校連合同窓会総会が幹事校を東海大学付属甲府高等学校において平成11年8月21~22日(土・日)に開催されました。高輪会からは会長以下、役員4名が参加しました。各校の活動状況が報告され、見学会、懇親会等で親睦

を深めました。高輪台高校の「いとし会」の開催計画も紹介しています。次年度第25回総会は節目の年なので、記念式典を第四高校(北海道)が幹事校として開催することになりました。

■お知らせ

■会費納入のお願い

会員の皆様には同窓会費（年2千円、または5年分1万円の一括）の納入をお願いしています。郵便局備え付け、または同封の振込用紙をご利用ください。

口座番号 00100-9-155498

口座名(加入者名) 高輪会

※氏名欄には必ず卒業年をご記入ください。

■進学希望者(中学生)へのPR

本校への進学に興味をお持ちの方がいらしたら、下記の説明会・見学会をご案内ください。また、進学希望者の学校見学は随時受け付けています。

開催日：10月9日(土)、24日(日)

10時～12時 学校説明会

12時～15時 校内見学会

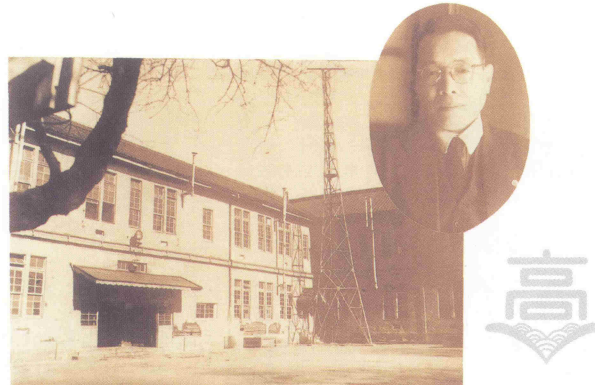
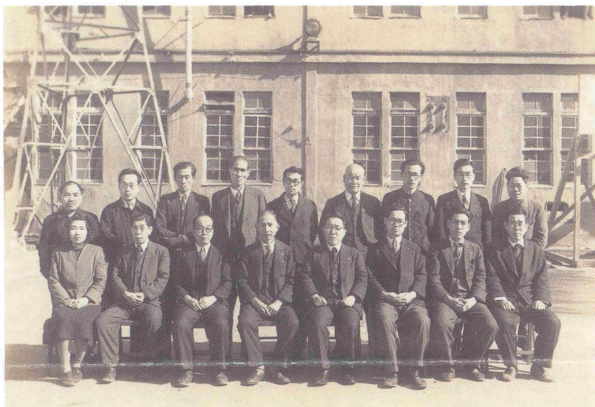
※入試相談コーナー開設。校内食堂利用可。

ホームページをご覧ください。

<http://www.tokai-takanawa.minato.tokyo.jp/>

高輪歴史館 (資料紹介)

会員の方からご提供いただいた写真をご紹介します。ヒントなしでおわかりになる方は是非「いとし会」にもご出席されてはいかがでしょうか。



■返信ハガキの返送

同窓生の情報を収集するため、返信ハガキに近況をご記入の上、返送をお願いします。返信欄をそのまま印刷した「同窓会誌」の編集も検討しております。住所変更等の情報についてもご連絡ください。

高輪会交流会「いとし会」/新校舎見学会

総会のない年は、交流会を開催して会員の親睦を図ります。特に50歳を迎える方に「学年同窓会」を呼びかけて企画・実行に携わっていただくことといたしました。今回は初めてなので50歳以上の同窓生が合同で実行委員会をつくり「いとし会」(実行委員長 伊藤信雄・S27年卒)を開催し、お世話になった先生方もお招きして、記念式典・懇親会を行います。

現役生徒との交流(演奏や女子生徒を含む在校生による学園生活の紹介)等を行う計画ですので、若手を含む全ての同窓生にご出席いただけます。今後、交流会にあわせたクラス会開催等による相乗効果にも期待しています。この機会に学生にも人気の高い新校舎をぜひお訪ねください。

開催日：1999年12月12日(日)

場所：東海大学附属高輪台高等学校

時間：10時00分～ 受付開始

10時30分～ 記念式典/新校舎見学会

13時00分～ 懇親会

会費：記念式典および新校舎見学会は無料です。

懇親会参加の場合、8,000円(記念品を含む)

申し込み：同封の返信ハガキと振込用紙をご利用ください。

資料作成のため、11月20日に集計します。

※当日参加・会費受付も歓迎します。お気軽にご出席ください。

問い合わせ：高輪会事務局

(松原健次先生、中島洋介先生まで)

■住所不明者の調査

会報の届かない方(住所不明者)がいらしたら、情報(氏名、住所、卒業年、等)を同窓会事務局までご連絡ください。返信ハガキの通信欄をご利用いただけます。

■同窓会連絡先

東海大学附属高輪台高等学校 同窓会事務局

〒108-0074 東京都港区高輪2-2-16

Tel:03-3448-4011, Fax:03-3448-4020

ホームページ <http://www.tokai-takanawa.minato.tokyo.jp/>